

〈第58回羽工祭のテーマ〉



第 59 号
 羽工工業高等学校
 2021年3月3日



「七楽の教え」

会長 西村 誠

PTA会員の皆様におかれましては、日頃よりご理解とご協力を賜り深くお礼申し上げます。この一年間は、新年度早々新型コロナウイルスの影響による長期の臨時休校や分散登校など学校の再開は六月になりました。学校行事やPTA事業も中止や規模の縮小もありましたが、学校長をはじめ、教職員、PTA役員、保護者の皆さまの多大なるお力添えにより進めることが出来たことに感謝申し上げます。

卒業を迎える三年生の皆さん、い

よいよ羽工工業高校で学んだ事を胸に進学や就職とそれぞれの道へと進んでいくことでしょう。

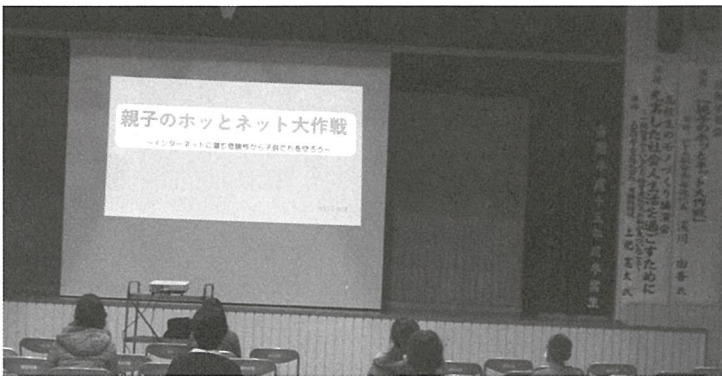
これから、大きな夢と希望、そして自分の進むべき道に歩みを進めることに対しての不安もあると思います。学校生活とは異なり、社会に出ると今まで体験のしたことのない辛さや苦しさがあると思います。時には挫折しそうになり、ついつい楽な方に逃げたくなる時もあるかもしれませんが、でも決してあきらめないで下さい。昔、薬売りの言葉で「七楽の教え」と言うものがあります。それは「楽すれば、楽が邪魔して楽ならず。楽せぬ楽がはるか楽々」という言葉です。嫌なことから逃げて楽をしても、結果として楽にはならない。反対に楽をしようとせずに、楽しんで努力して物事にあたっていく方がはるかに楽で素晴らしい、いい人生になっていきますという教えです。「楽」と「楽しい」は同じ漢字を使いますが意味は全く異なります。

どうか、何事にもチャレンジをして沢山の「楽しい」を見つけ、人生を素晴らしいものにしていくって下さい。PTA会長を仰せつかってまいりましたが、とりわけこんな事を実行した等のことは、出来ておりません。すべての方々にご協力とご理解

をいただき、地元の高校として地域に必要とされる高校として皆様と共有出来た事は、私にとってもとても大きな財産となりました。結びにPTA活動に対して多大なるお力添えを頂きました皆様に感謝申し上げます。

学校公開

十一月四日(水)～七日(土)に学校公開がありました。最終日にはものづくり講演会やPTA母親委員会による情報学習会が行われました。



〈情報学習会 親子のホットとネット大作戦〉



「期待」

校長 稲垣 裕

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、卒業生の保護者の皆様には、お子様が無事に三年間の高校生活を終え、めでたく卒業されますことを心からお祝い申し上げます。

今年、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの学校行事を中止しましたが、学校祭、学校公開、課題研究発表会を実施することができました。先日の課題研究発表会では、それぞれの研究について、苦労したことや工夫点などを堂々とわかりやすく発表し、石川県教員総合研修センターの指導主事からも高い評価をいただきました。

さて、表題です。本校書道部は、毎年手作りカレンダーを制作しています。今年も、部員が思い思いに心を込めて制作したものが、一階廊下に展示されています。長年外部講師

としてご指導頂いている渡辺美鶴先生の作品は校長室に頂きました。カレンダーのはじまりの言葉です。

「今年は何かいことが起きそうな気がする。ワクワクしていると必ずいいことが起きる。」

毎日、何度も見えています。コロナウイルスに関するニュースや事件、事故が多い中、今年が良い知らせが届くことを期待しています。

私が、興味を持つていることは、宇宙に関するニュースです。昨年十二月、「はやぶさ2」が、小惑星「リュウグウ」で地表物質や地下物質を採取し、格納したカプセルが、地球に帰還しました。「太陽系の成り立ち」や「生命の起源」をめぐる、新たな発見につながるのではないかと言われています。宇宙についてはまだ知られていないことばかりで、どこまで続くのか、地球以外に生物が存在するのかなどを考えると不思議でなりません。時には地球が小さい存在であるようにすら思えます。今回の「リュウグウ」までの距離は三億キロ、地球からの指令を電波で送ると到着まで十七分、種子島宇宙センター打ち上げ後、往きは三年以上、帰りは一年以上かかっています。カプセルの大気圏突入時の速度は、秒速十二キロ。全てが桁違いです。なおかつ、「はやぶさ2」はカプセルを切り離れた後、別の小惑星の探査に

向かっており、その距離は百億キロ、到着は約十一年後の予定というスケールの大きさです。

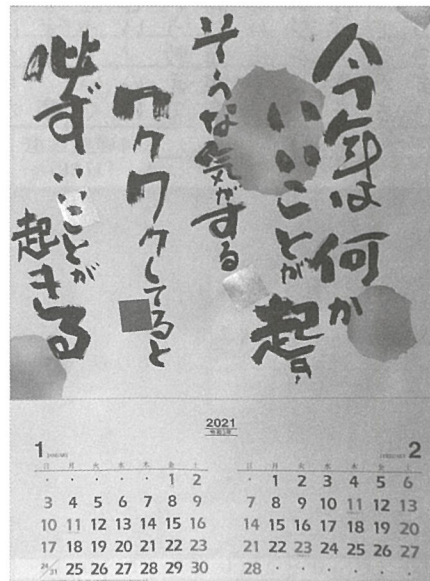
さらに、ものづくりを学ぶ我々にとって嬉しいことに、この「はやぶさ2」の部品の一部を従業員約二十人ほどの町工場が作っているということ

です。それは、「六角穴付きボルト」という小さなもので数にして約五百本、素材はチタン合金の一種で全て手作業で作っている「軽く、硬い」部品です。JAXAのプロジェクトとなると大企業を中心に行われていると思っていました、小さな町工場が日本の製造業の技術力を見せてくれているのです。

四月から、それぞれ進級、卒業することになります。引き続きコロナウイルス感染症対策を万全にし、「今年は何かいことが起きそうな気がする。ワクワクしていると必ずいいことが起きる。」と期待し、上級生として、社会人として頑張っ

て欲しいと思います。私たちが教職員は、変化の激しい時代を逞しく生き抜く力を身につけ、社会に貢献できる、地域産業の担い手となる人材を育成するために、

校訓「自律・創造」のもと、努力を



続ける所存です。今後とも保護者の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

〈年頭の期待を表す渡辺先生の作品〉



〈長期型企業実習（デュアルシステム）にて〉

長期型企業実習 (デュアルシステム)

九月二十七日(火)より産業連携による人材育成推進事業の長期型企業実習(デュアルシステム)が行われました。この長期型企業実習は電子機械科二年生の生徒を対象に行われ、今年度は、八名の生徒が参加しました。この事業は今年度で十一年目となつていきます。

実習内容については企業の説明、安全教育を受けた後、各場所での作業となります。学校にはない大型の工作機械や工具等を使用し、製品の組立を行います。



〈インターンシップにて電気科の実習〉

生徒はこの実習を通して意欲的に学ぶことや、責任感やコミュニケーション力など自らが身につけなければならぬことを再確認することができたのではないかと思います。ぜひ来年度の進路決定に活かしてほしいと思います。

今回、コロナ禍ではありますが、長期型企業実習(デュアルシステム)を受け入れてくださった企業の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



〈インターンシップにて建設造形科建築コース・土木コースの実習〉

インターンシップ

十月十三日(火)～十五日(木)において二年生を対象に五十三社(デュアルシステム四社を含む)の企業に協力していただき実施されました。製造業、サービス業、電気工事業、建設業など様々な分野での実習です。二年生は来年度の進路決定に役立ててほしいと思います。多くの企業に協力していただき実施できたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



〈建設造形科デザインコースのインターンシップの様子〉

羽工祭

十月三十日(金)に羽工祭が開催されました。今年度、一般公開はせず、三年生は第一体育館、一、二年生は第二体育館で中継器を使い、ライブ配信をしました。「心を密に〜羽工しか勝たん〜」をテーマに生徒会役員を中心に九時からオープニングが始まり、クラスステージ動画、生徒会企画などが用意されました。例年とは異なった会場配置となりましたが、雰囲気も良く、チーム羽工として一丸になって楽しんでいました。



〈模擬店の様子〉